

## 麻生区区民会議 第3回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年1月18日（火）午後2時00分～午後4時00分
- 2 開催場所 麻生区役所第4会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]  
石井委員、植木委員、魚本委員、鴨志田委員、菅原委員、竹市委員、  
武濤委員、田中委員、土井委員、柳島委員  
[事務局]  
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 事
  - (1) 調査審議課題について
    - ア 勉強会での検討内容並びに審議事項について  
**【主な意見】**
      - ・ 具体的取り組みについて、優先順位をつけるのではなく、同時並行で複数の問題に取り組むことはできないか。
      - ・ 短い期間の中で成果・実績を出すことを考えると、同時並行は難しい。但し、まずは1つ、取り組みを進めていく中で、関連する項目があれば同時並行となることもあり得るし、取り残した課題を次期区民会議に引き継ぐことも考えられる。
      - ・ 個々の問題について、福祉計画の区民説明会とパブリックコメントが今度行われることから、こちらに意見陳述することもできるのではないか。
      - ・ 「高齢者・障がい者・弱者」に関わるコミュニティシステム作りを進めていく上で、高齢者だけに絞るのではなく、その他の分野の人にも関わってくる可能性があることから、幅を持たせて取り組みを進めたい。
      - ・ 事務局から提供される資料だけでなく、実際に活動している人（社会福祉協議会、区役所担当部署、その他地域包括センターなどの施設や団体）からの生の声を聴くことで、現在さまざまな活動が展開されているのにいまひとつ効果が上がっていない部分の検証、実際の活動に関する勉強と質疑、現場で活動している人の困っている点の把握などを行いたい。
      - ・ 区民会議とは、主体的に何か事業などを実施するのではなく、すでに取り組みされているもの、新たに取り組もうとするものをサポートしていく立場ではないか。
      - ・ 市（区）と社会福祉協議会でそれぞれ進めている福祉関連の計画・事業について、一緒に進められるとよい。
      - ・ 市（区）と社会福祉協議会それぞれの計画・事業は質が異なる。
      - ・ 勉強会を開く際、高齢者の問題について先にリストアップしたものを根底に臨むこ

とを忘れないようにしたい。また、実際に招聘する施設等も整理した方がよい。

- ・区の福祉計画で扱うテーマとは土俵が違うものであることを忘れないようにしたい。
- ・まずは社会福祉協議会でどんな活動をおこなっているかを説明してもらわないと、区民会議の側からどんな質問をしていいかわからないのではないかと。
- ・「先に洗い出した高齢者等の15の問題テーマに関わるところで、実際の活動や困難などの話をしてもらい、理解を深める」という区民会議の目的を予め招聘する人に伝えておく必要がある。
- ・具体的に「こういう問題が起きたとき、ここの団体（施設）は何をやってくれるのか」、例えば「妻が痴呆になった時のサポート」や「自分が障がいを持った時の手続き」といった事例に即しての質問をしてはどうか。
- ・区（事務局）から社会福祉協議会あてに正式な依頼と日程調整をしてもらいたい。

#### 【決定事項】

- ・具体的な取り組みについては、まずは高齢者に関連する課題を中心とする。但し、ほかの分野（障がい者・弱者など）にも留意しつつ進めていく。
- ・社会福祉協議会担当者を招き、区民会議委員の勉強会を開く。  
（区役所担当者などを招いての勉強会については、別途）
- ・具体的にやることが明確化する利点なども考慮し、当初のメインテーマとサブテーマを入れ替える。
  - （メインテーマ） 「地域で支え合うコミュニティシステムづくり」
  - （サブテーマ） 「高齢者・障がい者・弱者が暮らしやすい環境づくり」
  - ↓
  - （メインテーマ） 「高齢者・障がい者・弱者が暮らしやすい環境づくり」
  - （サブテーマ） 「地域で支え合うコミュニティシステムづくり」

イ テーマ「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について

#### 【説明事項】

- ・事務局より、これまでの協力体制についての経過を説明。

#### 【主な意見】

- ・区民会議が主体となって活動を展開する必要はないのではないかと。例えば各芸術・文化イベントの実行委員会などから関係団体に依頼して、メインイベントに付随する美化清掃活動や絵画展を行えばよいと思う。
- ・第2期区民会議では、「アルテリッカしんゆり」のイベントを盛り上げるための提案として、絵画展や美化清掃活動が出てきた。区民会議としては、提案するだけでなく自分たちも動いたほうがよい、ということになり、昨年度のように主体となって実施した経緯がある。これらの取り組みをほかの団体等に手放すことも可能ではあるが、区民会議から始めたことなので、きちんとした形で他団体への引継ぎや実行委員会への依頼をしたい。
- ・芸術のまちづくりを進める上で、行政や文化芸術関連団体だけでなく、いかにして

一般市民にも参加してもらえるか、という視点で取り組んできた経過もある。

- ・区民会議は、①主催（主体）となって各イベントや行事を執り行う立場と、②各イベントや行事は実行委員会などに任せて後方支援に回る立場とが考えられる。第2期区民会議のあり方はそれとして、第3期区民会議としては、サポートする立場ということを再認識し、今まで築いてきた「いいモノ（活動）」はどこかに引き継いでいく、というスタイルとした方がよいのではないか。
- ・そもそも区民会議とは、提言を行う場所で、その活動には事業のモデル的な実施もあり得るが、事業の実行部隊となることは本来の設置趣旨と異なるのではないか。
- ・「アルテリッカしんゆり」はさまざまなイベントの中でもまだまだ認知度が低いので、区民会議において情報発信を検討してもらいたい。新百合ヶ丘周辺だけではなく、柿生地区やその他の地区への周知も図っていきたい。また、その一つの提案として、出前フォーラムを開催してはどうか。
- ・「アルテリッカしんゆり」という一つのイベントだけではなく、各イベントへの後方支援は前向きに考え、それら情報発信の形をこの場で作り上げていってはどうか。
- ・フォーラムの開催については、実行委員会で主催したものに区民会議が参加する、という形なら考えられる。
- ・第2期区民会議で提案した、子どもの絵画展や美化清掃活動も、多くの市民の参加を期しての1つの方策だった。「芸術のまちづくり」の方向を市民にわかってもらいたい、イベントを周知したい、ということを経験から実行委員会や関係団体に提案していけるとよい。
- ・来年、再来年も続けていける形を考えなければならない。区民会議で提案したものを別の組織で担ってもらえるような形を作り出す必要がある。
- ・区民会議フォーラムを開催し、その中で情報発信も複合的に展開していくことは1つの方法として考えられる。
- ・区民会議フォーラムの開催のタイミングは、区民会議としての取り組みがもう少し進んだ段階においてである。
- ・「芸術・文化」の取り組みについて、特に議論を急がなければならないのは、アルテリッカしんゆりへの協力支援をどうするか、である。

#### 【決定事項】

- ・アルテリッカしんゆりの区民会議の支援としては、自ら主体となつての活動は行わない。但し、美化清掃活動については、通常行われている美化清掃ボランティアに「アルテリッカしんゆり開催直前の日に新百合ヶ丘周辺の清掃を行ってもらおう」よう依頼し、区民会議委員も協力という形で参加するスタイルとし、また、子どもの絵画展示については、今後、文化協会に活動を引き継いでもらえるかどうか、打診する。
- ・アルテリッカに限らず、いろいろなイベント事業を捉えて、麻生区の横断的な情報発信を今後考えていってはどうか。そのための最初のステップとして、麻生区で情報発信されているものは、どんなものがあり、どれだけの種類があるのか、そのさまざまなチャンネルの実態を事務局に調査報告してもらいたい。

## (2) その他

### ア 次回の勉強会・部会の開催について

- ・平成23年2月4日（金）午前9時30分から、区役所会議室にて勉強会を開催。
- ・平成23年3月8日（火）午後1時30分から、第4回部会を開催。

### イ 区民会議交流会

- ・平成23年3月19日（土）午後1時から、高津市民館で開催。
- ・各区3名出席で、麻生区からは武濤委員長、金光企画部会長、福田環境・緑化部会長が出席予定。